

## 運営状況の開示について

社会福祉法人友隣会の平成30年度における業務及び財産に関する報告を下記の通り掲載いたします。

### ○平成30年度事業報告

法人所在地	宮崎県東臼杵郡門川町庵川西6丁目60番地
名称	社会福祉法人 友隣会
代表者	理事長 吉田 博之(平成29年6月21日再任)

### 社会福祉法人 友隣会

### ◆ 平成30年度事業報告書 ◆

#### □法人事業推進状況

##### 1. 良質かつ適切なサービスの提供

常に利用者やご家族の声をしっかりと受け止め、関係機関との連携等により丁寧に対応することで適切なサービスの提供に努めた。特に障がい者虐待防止の県研修の伝達研修や外部講師による交通安全運転講習会については、法人職員全体研修会とし、職員全員で学びを深めることができた。

##### 2. 地域における公益的な取り組み

門川町生活支援品支給事業（フードバンク等事業）に参加し、支援が必要な方への支援品の支給について協力を行った。日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会委員として、地域の課題に主体的に関わりながら、各関係機関との連携を図った。

##### 3. コンプライアンス（法令遵守）の徹底

悠々工房の実地指導において、運営の基準やその解釈について、確認不足から運営規程への追加点や定員規模単価の考え方の相違について等の指導を受け、その結果、報酬を返還するに至ってしまった。返還については県の指導を受けながら、次年度に一括で各市町村に返還を行う。また、再発防止に向けては確認体制を整えた上、更に法令遵守を徹底していく。

##### 4. 人材育成と働きやすい職場づくり

質の高いサービスを安定的に提供していくために、職員の更なる資質の向上に向けて、各種協議会や年間計画に基づいた外部研修会への参加を積極的に行った。定期的な職員会議やミーティング、ケース検討会等を実施し、コミュニケーションの円滑化と職員間の情報共有に努め

##### 5. 法人組織統治（ガバナンス）の確立

法人組織については、理事会・評議員会・監事と、関係法令に基づき各々の役割を果たしながら、適切な法人運営を目指した取り組みを行った。

◆ 平成30年度理事会・評議員会の開催について ◆

・開催実績 理事会4回 / 評議員会3回

第1回理事会

日 時 平成30年6月11日(月) 午前9時30分～

場 所 ワークセンター悠々工房 食堂ホール

理事会審議事項

- ・第1号議案 経理規程の一部改定(案)について
- ・第2号議案 金銭管理規程(案)について
- ・第3号議案 平成29年度事業報告書(案)について
- ・第4号議案 平成29年度決算報告書(案)について  
(監事監査報告)
- ・第5号議案 定時評議員会の招集事項について

定時評議員会

日 時 平成30年6月28日(木) 午後7時～

場 所 ワークセンター悠々工房 食堂ホール

評議員会審議事項

- ・議案 平成29年度決算報告書について  
(監事監査報告)

第2回理事会

日 時 平成30年11月13日(火) 午後3時～

場 所 ワークセンター悠々工房 食堂ホール

理事会審議事項

- ・第1号議案 悠々工房就労移行支援等事業運営規程の改定(案)について
- ・第2号議案 悠々工房就労移行支援等事業サービス費の返還について
- ・第3号議案 平成30年度第1回補正予算(案)について
- ・第4号議案 評議員会の招集事項について

第3回理事会

日 時 平成31年1月30日(水) 午前10時～

場 所 ワークセンター悠々工房 食堂ホール

理事会審議事項

- ・第1号議案 グループホーム悠運営規程の改定(案)について
- ・第2号議案 就労定着支援事業の実施について
- ・第3号議案 就労定着支援事業計画(案)について

- ・第4号議案 就労定着支援事業予算(案)について
- ・第5号議案 定款の変更(案)について
- ・第6号議案 評議員会の招集事項について

## 第2回評議員会

日 時 平成31年2月8日(金) 午前10時～  
場 所 ワークセンター悠々工房 食堂ホール

### 評議員会審議事項

- ・第1号議案 グループホーム悠運営規程の改定(案)について
- ・第2号議案 就労定着支援事業の実施について
- ・第3号議案 就労定着支援事業計画(案)について
- ・第4号議案 就労定着支援事業予算(案)について
- ・第5号議案 定款の変更(案)について

## 第4回理事会

日 時 平成31年3月4日(月) 午後3時～  
場 所 ワークセンター悠々工房 食堂ホール

### 理事会審議事項

- ・第1号議案 経理規程の改定(案)について
- ・第2号議案 平成30年度補正予算(案)について
- ・第3号議案 平成31年度事業計画書(案)について
- ・第4号議案 平成31年度予算(案)について
- ・第5号議案 評議員会の招集事項について

## 第3回評議員会

日 時 平成31年3月28日(木) 午前9時30分～  
場 所 ワークセンター悠々工房 食堂ホール

### 評議員会審議事項

- ・第1号議案 平成30年度補正予算(案)について
- ・第2号議案 平成31年度事業計画(案)について
- ・第3号議案 平成31年度予算(案)について

# 1. ワークセンター悠々工房 事業報告 <障害福祉サービス>

## □ワークセンター悠々工房 事業推進状況

悠々工房においては、地域の障がい者の就労支援を担う事業所として、利用者の個々の障がい特性や心身の状況に合わせた働き方で作業や訓練を行い、または、一般就労を果たすことで、社会参加や地域社会に貢献できることを目指して事業活動を行った。常に利用者の意思及び人格を尊重し、働くことを中心においた就労継続支援B型事業と一般就労を目指した就労移行支援事業のサービス提供に努めた。

生産活動においては、収入の確保を目指し、作業内容の整理や委託作業種目の拡大、アルミ缶の回収量の拡大等に取り組みを強化した。アルミ缶等の回収量は前年比で13%増（年間10,525キロ）、キロ単価の変動があったが、収入では前年比8%増とわずかではあるが伸びているため、今後も更に積極的に取り組んでいく。

一般就労を目指した取り組みでは、障がい者ふれあい合同面談会への参加から、施設外支援につながり、職場実習を重ねることでハローワークや障害者就業・生活支援センター等、関係機関との連携を果たし、就職者1名を出すことができた。一方、利用者数の増減については、就労継続支援事業B型は1名の退所があったが、新規の利用者2名を迎えることができ期末には定員の115%と増えた。就労移行については年度途中の新規の利用者はなく、有期限にてB型へ移行した方1名、就職をされた方1名と、期末には利用者数2名と定員6名に対して、定員割れが続いており、利用者確保が課題となっている。次年度は引き続き出勤率の向上を図り、個々の挑戦を促しながら、生産活動の活性化と就労支援の強化を継続し、すでに一般就労へと送り出した方への定着支援を確実にを行い、6ヶ月経過後には新規事業の就労定着支援事業につなげていけるように取り組みを行っていく。以下、各事業について報告する。

### (1) 就労継続支援事業B型

#### 1. 工賃向上を目指した取り組みの強化

生産活動では、利益率や作業の効率化を考えた作業種の検討を行い、木工作业を休止するなど整理を行った。トマト・へべす作業、箱折りなど継続した委託作業については、作業習得にむけての支援と作業工程を細分化し進め方を工夫することにより作業の質や量の向上につながった。アルミ缶回収やギフトセット販売の協力依頼についても定期的に行うことができた。

#### 2. 工賃支給の仕組みについての説明会の実施

工賃支給の仕組みや個々の工賃の算定根拠（職業習慣の確立や社会性、生産活動に対する意欲や態度、通所日数など）について分かりやすく説明を行い、工賃支給の仕組みの理解を促すことで、作業態度の改善や通所意欲につながった。

#### 3. 安定した作業量の確保

アルミ缶等回収については、協力の呼びかけや新規協力者の開拓などを積極的に行い、回収量は年間で10,525<sup>キ</sup>（前年度9,288<sup>キ</sup>）と増やすことができた。新規作業では、ミニトマトの

選別とパック詰め、トマトの箱折り、門川海浜公園内の清掃等に取り組みを広げることができた。夏季の繁忙期の屋外作業では、休憩を多く取るなど、個々の体力や特性に合わせて、短時間でもかかわることができるように工夫した。

#### 4. 出勤率の向上

新規の利用者については、慣れるまでに時間を要する方もあり、週2日程度の通所から無理なく通所日数を増やしていくようにした。休みがちな利用者については、体調や精神状態を確認しながら、目標をもって休まずに通所できることを個別に丁寧に促し、出勤率の向上につなげた。

#### 5. 一般就労の意向を踏まえた就労支援

一般就労を目指し、2名の方に施設外支援（職場実習）の機会を提供した。また、希望者3名が障がい者ふれあい合同面談会へ参加し、企業との面接にチャレンジできた。学習会については、頻度としては月1回程度としたが、毎回6～7名の参加者があり、将来を見据えて学習を深めることができた。

### **(2) 就労移行支援事業**

#### 1. 施設外支援の実習先や雇用先等、職場の開拓

障がい者ふれあい合同面談会への参加により、新規での施設外支援（職場実習）の受け入れ先や雇用先の確保につながった。（協力事業所：新規4件を含む7件）

#### 2. 新規利用者や家族との信頼関係の構築

新規の利用者として特別支援学校の卒業生2名を迎えたが、2名ともに初めての障害福祉サービスの利用となったため、個別支援計画についての意見の聴取をはじめモニタリングの実施、その他施設外支援や雇用に向けての説明など、より丁寧な対応を行い信頼関係の構築に努めた。

#### 3. 個別支援の充実

働くイメージの具体化を図り、職場見学や施設外支援による職場体験実習、ハローワーク訪問などを行い個別に必要な支援を行った。特性を理解し、必要な支援を行うことで色々な場面において、自ら経験したことを活かし、自ら考えて行動できることを目指した。有期限を迎えた利用者1名については、期限内の就職が果たせなかったため、就労継続支援事業B型に移行となったが、今後も必要に応じて就労支援を継続する。

#### 4. 学習会の充実

職業生活の中で、働くために身につけておきたいマナー（身だしなみ、言葉使いや態度等）、社会で生活していくために必要な力など、身につけるための座学での学習に取り組んだ。落ち着いた雰囲気の中で、自らの考えを発表することや、他者の意見を聴いて意見を述べる等の実践的な内容を取り入れ、理解につなげた。

## 5. 就職後の定着支援の充実

利用から9ヶ月でふれあい合同面談会に参加後、就職につながった1名については、施設外支援（職場実習）から雇用に必要な手続きや家族への説明など、スムーズに雇用関係に移行できるように進めた。就職後には、障害者就業・生活支援センターや宮崎県障がい者職業センター等との連携を図り、定期的な職場訪問を行い、働き続けるために必要な支援を確実に行った。

### □ 施設整備等の状況

施設・備品の整備	スポットエアコン	632,360円（リサイクル用）
	物置	140,960円（外作業備品用）

### □ 生産活動各科実施内容

- ①食品加工科（ひむかのすり身・すり身天・給食用すり身ボール等の製造販売など）
- ②工作リサイクル科（アルミ缶リサイクル 園芸作業など）
- ③OA科（資料作成 年賀状印刷 名刺・はがき・封筒などの軽印刷 トマト・へべすに関する委託作業など）
- ④その他（福祉センター管理 社協ダイルーム清掃 除草作業等 箱折り トマト作業（その他販売品…せんべい、干物類、そうめん、ラーメン、布小物など）

### □ 行事関係

#### ①販売行事参加実績

参加行事	月 日	場 所	参加利用者	参加職員
延岡大師祭り	4 / 14	延岡栄町サンロード	2（人）	1（人）
済生会フェア	5 / 19	済生会 日向病院	3	1
七夕まつり	7 / 7	延岡山下商店街	2	1
門川町保健福祉大会	7 / 8	門川町総合文化会館	3	1
延岡イオン歩一歩	7 / 24	イオン延岡店	2	1
門川町福祉ふれあい祭り	10 / 21	門川町総合福祉センター	全員・家族会	全員
ひむか祭	11 / 10	日向ひまわり支援学校	2	1
道の駅日向(福祉企画)	11 / 11	道の駅日向	2	1
しろやまフェスティバル	10 / 17	延岡しろやま支援学校	2	1
スマイルフェスタ	11 / 24	キャッチボール	2	1
日向市ふれあいフェスタ	12 / 2	日向市文化交流センター	7	3
やっちやるばい門川	31. 1 / 27	クリエイティブセンター	3	2
日向市福祉のつどい	2 / 3	日向市文化交流センター	6・家族会	3
障害者理解と啓発研修	2 / 19	門川町社協	2	1

心の健康講座	2 / 2 1	日向市中央公民館	1	1
ひな山まつり	2 / 2 7	三ヶ瀬集落センター	2	1
〃	2 8	〃	2	1
〃	3 / 1	〃	2	1
〃	2	〃	2	1

○その他移動販売 4月—4回 5月—3回 6月—6回 7月—4回 8月—4回  
9月—4回 10月—2回 11月—3回 12月—3回 1月—3回  
2月—3回 3月—5回

○民生児童委員協議会定例会にて販売—4回

## ②社会参加、その他行事参加実績

社会参加・その他の行事等	月 日	内 容 ・ 場 所 等
ふれあいバーベキュー交流会	4 / 1 7	悠々工房アルミ缶作業場、広場
地域奉仕作業 (年2回)	4 / 25・11 / 10	庵川漁協、公民館周辺の清掃作業
宮崎県障害者スポーツ大会	5 / 1 3	宮崎県総合運動公園
歯の衛生指導	6 / 1 4	歯科衛生士・保健師来所による指導
家族会総会	6 / 3 0	悠々工房食堂にて
合同避難訓練	8 / 3 1	門川社協との合同避難訓練 消火訓練
利用者健康診断	8月～	嘱託医 森迫胃腸科内科にて年1回
視察研修一泊旅行 (佐賀方面へ)	9 / 2 0・2 1	<野中かまぼこ工場 バルーンミュージアム 宇宙科学館 有田ポーセリンパーク他>
障害者ふれあい合同面談会	1 0 / 1 8	延岡文化センター 希望者6名参加
門川町福祉ふれあいまつり	1 0 / 2 1	施設販売、家族会フリーマーケット
門川町障がい者スポーツ教室	1 1 / 2 8	クリエイティブセンター
ふれあい餅つき交流会	1 2 / 1 8	ふれあい地球館にて利用者4名 職員1名
ふれあいランチタイム	2 / 1 3	福丸縁見学とランチでの交流会
ふれあいタイム交流会		5/26 映画鑑賞会 8/2 夏を楽しもう 12/22 クリスマス会 1/27 お正月遊び体験 3/30 家族会カラオケ交流会

## □施設外作業、請負、委託作業等状況

- ①森迫胃腸科内科 駐車場清掃、プランター花の管理
- ②サンハイツ 駐車場内除草、清掃作業
- ③森農園 トマトパックシール・シート貼り、梱包材カット作業
- ④門川社協 門川町総合福祉センター周辺除草、門川社協デイルーム清掃作業等
- ⑤グーフーム トマトの選別、パック詰め作業、箱折り、除草作業
- ⑥熊野農園 ヘベすの皮むき、搾汁作業
- ⑦近藤水産 干物用箱折り
- ⑧門川海浜公園内清掃

□実習、視察見学等受け入れ等状況

- ①延岡しろやま支援学校高等部実習 6月1名 / 9, 10月1名 / 1, 2月2名
- ②延岡しろやま支援学校職員見学 1月10名
- ③日向ひまわり支援学校高等部実習 11月1名 / 1月1名
- ④鮫島病院デイケアより視察 2月10名

□実習協力事業所

- ①株式会社 西の丸
- ②有限会社 サンシールさの
- ③医療法人 慶城会 介護老人保健施設 慶穰塾
- ④株式会社 大久保商店
- ⑤有限会社 近藤水産
- ⑥エーオーシーアセンブル株式会社
- ⑦JA日向 門川給油所

□就 労 実 績

エーオーシーアセンブル株式会社 (就労移行支援事業) 1名

障害種別	年齢 性別 (居住地)	就職先/雇用年月日
知的障がい	20歳 男性 (延岡市)	旭有機材工業エーオーシーアセンブル株式会社 (延岡市中の瀬町) 平成30年12月17日より雇用

(3) 日中一時支援事業 <地域生活支援事業>

□事業推進状況

今期の利用は、悠々工房の就労継続支援事業B型の元利用者の方(現在は介護を中心とした他の福祉サービスの利用もされている方)1名が週1回の利用があった。体調に無理のないように調子を見ながらの利用となったが、悠々工房での仕事への意欲が高く、必要な介助を行うことのできる範囲での軽作業への従業を促した。休憩時間には積極的に仲の良い利用者や、職員との会話を楽しまれるなど、交流を図ることができた。

利用者の状況

年代 性別	40代 女性 門川町
障がい種別	身体障がい2級・知的障がいB1



■ワークセンター悠々工房事業運営状況

(平成31年3月31日現在)

- ① 職員体制 計12名
- 管理者 1名
  - サービス管理責任者(兼務) 1名
  - 就労支援員 1名
  - 生活支援員 2名
  - 職業指導員 4名
  - 目標工賃達成指導員 1名
  - 事務員 1名
  - 事務補助員 1名
  - 調理員 1名

② 利用者の状況

- 定員 25名 (就労移行支援事業 6名 就労継続支援事業B型 19名)
- 現員 26名 (就労移行支援事業 2名 就労継続支援事業B型 24名)

③ 利用者分類等

( )内は昨年度実績

(1)性別、年代別分類

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男	1 (2)	7 (6)	5 (5)	4 (2)	1 (2)	2 (3)	20 (20)
女	0 (1)	4 (3)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	6 (7)
計	1 (3)	11 (9)	6 (6)	4 (3)	2 (3)	2 (3)	26 (27)

(2)事業、年代別分類

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
就労移行支援事業	1 (2)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (4)
就労継続支援B型	0 (1)	10 (8)	6 (5)	4 (1)	2 (1)	2 (0)	24 (23)
計	1 (3)	11 (9)	6 (6)	4 (3)	2 (3)	2 (3)	26 (27)

(3)在住市町村区分

市町村	門川町	日向市	延岡市	計
利用者数	13 (15)	9 (7)	4 (5)	26 (27)

(4)障がい分類 ①身体障がい者(重複)

身体		重複			
1級	2 (2)	知的		精神	
2級	1 (4)	A	1 (1)	1級	
3級	0	B-1	(1)	2級	(1)
6級	0	B-2		3級	
7級	0				
計	3 (6)	計	1 (2)	計	(1)

②知的・精神

知的		精神	
A	1 (1)	1級	1 (1)
B-1	8 (12)	2級	3 (2)
B-2	9 (5)	3級	1
計	18 (18)	計	5 (3)

## 2. ヘルパーステーション悠ライフ 事業報告

### □ 悠ライフ 事業推進状況

介護保険対象の老人居宅介護事業として、訪問介護事業を中心事業として、訪問型サービスを含めた在宅高齢者の身体介護や生活全般にわたり利用者の意志及び人格を尊重し、訪問での介護や支援を行った。介護予防訪問介護については、平成30年4月1日より、市町村が中心となつての生活支援や介護予防の体制整備がなされ、介護予防・日常生活支援総合事業に完全移行となつた。このことにより門川町をはじめ、日向市、延岡市、高鍋町からの事業者の指定を受け、事業対象者は徐々にではあるが増えている。ただ、訪問介護においては、病状が進み入所になつた方や自宅での入浴が難しくなり、通所型に移行した方もあり全体の事業収入は前年度並みとなつた。障がい者支援である居宅介護事業・同行援護事業については、利用者は昨年度同様少数にとどまつたが、在宅障がい者の家事援助や身体介護、通院の同行や外出支援などを行い、利用者ニーズに応えられる体制整備に努めた。

「介護難民」という言葉を耳にするようになったが、当事業所においてもヘルパーの人出不足が深刻化しており、今後求められるサービスが提供できないことも心配される。非常勤ヘルパー1名を採用したが継続できず、グループホーム悠世話人や悠々工房支援員がヘルパーを兼務することでなんとか乗り切っている状況にある。新規のヘルパー採用に向けては喫緊の課題としての取り組みを行い、今後も適切なサービスを提供できる体制を整えていく。以下、各事業について報告する。

### (1) 悠ライフ 訪問型サービス 訪問介護事業 <老人居宅介護等事業>

#### □事業推進状況

#### 1. 個人の尊厳を重視した良質なサービスの提供

利用者の立場に立った視点から常に利用者の人権を尊重し、適切なサービスを確実に提供するために必要な介護技術や知識を身につけ、良質なサービス提供に努めた。

#### 2. 地域ニーズへの速やかな対応

居宅介護支援事業所や関係市町村、地域包括支援センター等と常に必要な情報の伝達や確認を行いニーズの把握に努め、新規の方でもプランに沿って速やかにサービス提供ができるように体制を整備した。

#### 3. 職員の知識、技術の向上を目指した研修参加

サービス提供責任者は医学の基礎知識や認知症ケアについての外部研修に参加し、他ヘルパーと研修内容を共有した。門川町主催の認知症初期集中支援チーム事業についての説明会に職員研修としてヘルパーの参加を促し、町内の取り組みについて学ぶ機会となつた。

### (2) 悠ライフ 居宅介護事業 <障害福祉サービス>

□ 事業推進状況

1. 個人の尊厳を重視した良質なサービスの提供

障がいをお持ちの利用者に対し、常に相手の立場に立った支援方法や声かけを行い、対象者の人権を尊重した対応が適切にできるように努めた。

2. 利用者ニーズに即したサービスの提供

利用者の心身の状況や環境の変化に速やかに対応するとともに、定期的なモニタリングや担当者会にて状況確認を行いながら、対象者の希望や求められている支援についてのすり合わせを行い、利用者ニーズに即したサービスの提供に努めた。

3. 地域ニーズに速やかに対応できる体制作り

地域ニーズを受けて、障がい者支援に対応できるヘルパーの育成に取り組んだ。新規採用のヘルパーについては継続が難しく半年で退職、その後は悠々工房と兼務の職員がヘルパーとして対応できるよう体制作りを行った。

4. 職員の資質の向上のための研修等への参加

職員間において、学び合う姿勢を持ち、職員ミーティングにてあがった対象者の現状や課題を共有することで、障がい者支援についての理解につなげた。障がい者の虐待防止については法人全体研修会にて職員各自が自己チェックを行い、留意する事項の確認や普段の支援についての振り返りを行うことができた。

**(3) 悠ライフ 同行援護事業** <障害福祉サービス>

□ 事業推進状況

1. 個人の尊厳を重視した良質なサービスの提供

視覚障がい者の立場に立った支援方法や声かけの工夫を行い、対象者の人権を尊重した対応が適切にできるよう努めた。

2. 利用者ニーズに即したサービスの提供

利用者のペースに合わせた移動、通院の介助や外出支援など、安心安全な誘導や声掛けを行い適切なサービスの提供を行った。1日をかけて遠方への外出支援が必要となることもあったが、できる限り利用者の希望に応じて支援ができるように努めた。

3. 職員の資質の向上のための教育、研修参加

視覚障がい者に特化した研修等への参加はできなかったが、内部のミーティングにて視覚障がい者の理解につながる現状の報告や支援の実際について検討する機会を作った。

**(4) 悠ライフ 移動支援事業** <地域活動支援事業>

□ 事業推進状況

今期の利用実績は2名と少人数ではあったが、必要時に利用者や家族の希望する移動支援が適切に提供できるように努めた。訪問時の様子や細かな変化を見落とさず、何気ない会話にも心境の変化等を感じとりながら、心身の状況の把握に努め、安心安全な移動に必要な支援を行った。

□ ヘルパーステーション悠ライフ事業運営状況

(平成31年3月31日現在)

①職員体制

職 種	常 勤	非常勤
管理者(悠々工房・GH悠 兼務)	1	
サービス提供責任者	1	
訪問介護員	1	3
事務補助職員		1

②-1訪問型サービス利用状況

	事 業 対 象 者		
	無	要支援1	要支援2
年間派遣回数	460 (203)	131 (441)	736 (531)

②-2 訪問介護事業利用状況

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
派遣回数	432 (520)	677 (616)	0 (37)	46 (51)	199 (248)	1354 (1472)
延時間	396.25 (521.5)	636.25 (627)	0 (37)	47.5 (51)	99.5 (124.5)	1179.5 (1361)

②-3 介護度別利用者数

介護度	無	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	7 (5)	2 (4)	6 (6)	3 (3)	1 (4)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	20 (24)

③居宅介護事業 利用状況

利用者数	障がい種別		年間派遣回数	年間派遣時間
	身体障がい	知的障がい		
4 (6)	4 (4)	0 (2)	109 (129)	104.5 (150.75)

#### ④同行援護事業 利用状況

利用者数	障がい種別		年間派遣回数	年間派遣時間
	身体障がい(視覚障害)			
4 (4)	4 (4)		63 (48)	332.05 (250.5)

### 3. グループホーム悠 事業報告 <障害福祉サービス>

#### □ 事業推進状況

障がい者の地域での自立や社会参加の促進を図り、居住の場を提供し、共同生活を行う中で、それぞれの望む地域生活ができるよう生活全般にわたり支援を行った。服薬や受診の管理等を含め健康面における確認や嗜好に合わせた食事の準備の他、誕生会や外出等の余暇活動などを取り入れながらのサービス提供を行った。特に、1日をかけて宮崎から観光列車で日南方面への外出は、公共交通機関の利用について学ぶ機会となり、ご家族にも喜んでいただいた。利用状況では、60代の方2名について、体調を崩されての入院があり、その後は身体機能の低下等により介護保険のサービスへの移行など、高齢となった利用者が退所された。その後は、相談や体験利用の受け入れはあったものの、確実な入居には至らず、事業収入については前年比89%となった。利用期間が長くなり、障害支援区分3以上の方が増えてきたことから、世話人のみの支援では見届けが不十分となってきたため、次年度については、サービス内容をこれまでの「外部サービス利用型」から、より丁寧に生活の支援を行う「介護サービス包括型」へ変更し、これまで配置していなかった生活支援員を配置し、更に支援体制を整えていくこととする。

#### 1. 個人の尊厳を重視した良質なサービスの提供

個々の障がい特性を十分に理解し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めた。嗜好に合わせた温かい食事や季節の食材の工夫、健康管理や相談支援など、家庭的な雰囲気の中で安定した生活が送れるように必要な支援を行った。

#### 2. 一人ひとりの生活状況に合わせた個別支援

日中活動への通所状況や健康状態の把握、受診や服薬の管理など、一人ひとりの生活状況を把握し、必要に応じて個別の対応を丁寧に行った。

#### 3. 通所事業所や各関係機関、ご家族との連絡調整

日中活動の事業所をはじめ、相談支援事業所やご家族との連携を図り、定期的なモニタリングや担当者会など、必要に応じて利用者の状況の報告や課題の抽出を行い、支援に活かした。

4. 余暇的な活動の充実

誕生会や食事会の他、利用者の皆さんと話し合い観光列車での日帰りの旅を企画した。朝早くから1日かけて日南海岸の観光を楽しみ、利用者同士の親睦を図ることもできた。また、JRの切符の購入や乗り換えなど、公共交通機関の利用について学習する機会とすることができた。以前、宮崎駅から間違った列車に乗ってしまい帰れなかった利用者があったが、今回は宮崎駅からの切符の買い方や、相談できる窓口の確認を行うことができた。

5. 避難訓練や防災学習の実施

避難訓練の実施や、災害発生時の行動についての学習を行い、繰り返し理解を促した。災害発生時の停電に備えて各部屋に新しい懐中電灯を設置し、保存水の保管場所の確認など、各自が必要時に活用できるように確認した。

□グループホーム悠 事業運営状況

(平成31年3月31日現在)

①職員体制

職 種	常 勤	非常勤
管 理 者(悠々工房、悠ライフ兼務)	1	
サービス管理責任者(管理者兼務)	1	
世 話 人		4

② 利用者の年代別状況 (男性4名) ( )内は昨年度実績

20代	30代	40代	50代	60代
1	1	1	1	0 (2)

③ 障がい分類

障がい種別	知的障がい	精神障がい	身体障がい	計
利用者数	4 (5)	0	0 (1)	4 (6)

④ 見学者2組 体験利用1名

#### 4. 悠々サポートセンター事業報告書（自主事業）

法人内事業所において、個別面談やモニタリング、悠ライフの定期ミーティングや研修会などを実施した。また、相談支援事業所の担当者会やモニタリング、悠々工房家族会、各関係団体等に必要に応じて無料開放した。

外部使用団体など	使用目的
門川町手をつなぐ育成会	定例会 総会
門川町障害者連絡協議会	役員会 監査
悠々工房家族会	役員会
視覚障害者福祉会	役員会
学びの会	勉強会
相談支援事業所ゆうあい	担当者会 モニタリング
門川町社会福祉協議会	担当者会 モニタリング

資産の部		負債及び純資産の部	
流動資産計	54,718,065	流動負債計	6,198,611
固定資産計	127,135,287	固定負債計	1,341,012
		負債の部合計	7,539,623
		基本金	10,190,000
		国庫補助金等特別積立金	65,213,383
		その他積立金	53,100,000
		次期繰越活動収支差額	45,810,346
資産の部合計	181,853,352	純資産の部合計	174,313,729
		負債及び純資産の合計	181,853,352

## 2) 資金収支計算書

支出の部		収入の部	
科目名	決算額	科目名	決算額
就労支援事業支出	8,714,899	就労支援事業収入	8,540,420
福祉事業活動支出	64,691,757	福祉事業活動収入	62,232,467
施設整備等支出	632,360	施設整備等収入	0
その他の活動支出	3,914,400	その他の活動収入	3,750,000
資金支出合計	797,953,416	資金収入合計	74,522,887
当期資金収支差額	△3,430,529		
前期末支払資金残高	52,890,095		
当期末支払資金残高	49,459,566		

## 3) 事業活動計算書

勘定科目	法人合算決算額	拠点区分		
		悠々工房	悠ライフ	グループホーム 悠
就労支援事業活動収益	8,540,420	8,540,420		
就労支援事業費用	9,264,313	9,264,313		
サービス活動収益	61,299,799	45,868,150	10,264,189	5,167,460
サービス活動費用	65,896,953	51,883,406	9,208,888	4,804,659
サービス活動外収益	932,668	874,174	58,440	54
特別収益計	3,750,000	2,400,000	1,350,000	0
特別費用計	3,750,000	600,000	2,550,000	600,000
その他の積立金積立額	0	0	0	0
当期活動増減差額	△4,388,298	△4,064,875	△86,259	△237,145
当期末繰越活動増減差額	45,810,346	33,550,391	5,153,174	7,106,781

## 4) 財産目録



1 資産の部

I. 流動資産

(内 訳)

(1) 現金	88,311
(2) 普通預金	43,847,202
(3) 事業未収金	9,524,493
(4) 原材料	323,888
(5) 未収金	115,580
(6) 立替金	42,120
(7) 前払費用	251,250

II. 固定資産

(内 訳)

1. 基本財産

・建物	60,029,269
-----	------------

2. その他の固定資産

(1) 建物	4,368,788
(2) 建物附属設備	
(3) 構築物	163,100
(4) 機械及び装置	900,964
(5) 車両運搬具	4
(6) 器具及び備品	4,724,821
(7) 退職給付引当資産	1,341,012
(8) 各種積立金	53,100,000
(9) その他の固定資産	484,090

資産の部合計 181,328,131

2 負債の部

III. 流動負債

(内 訳)

(1) 事業未払金	3,097,940
(2) 預り金	167,160
(3) 前受金	1,080,000
(4) 賞与引当金	1,264,000

IV. 固定負債

・退職金給与引当金	1,341,012
-----------	-----------

負債の部合計 7,014,402

3 差引純資産

174,313,729